

10代のころ、真心をかくのが
怖くてい方がありませんでした。

というよりも今もそうです。

なぜこんなに真心をかくことが
苦手なんでしょうか.. と考えながら
この小説を書きました。

少しでも楽しんでもらえれば
うれしいです。

うねいこ

うねいこ

